



日中青年代表交流



静岡県と浙江省の友好・発展の架け橋になりませんか



期 間：平成26年7月～12月

内 容：中国浙江省及び静岡県での交流各1回
・ 浙江省・上海市訪問 8月15日～22日〔7泊8日〕
・ 静岡県での受入 10月〔3泊4日〕(予定)
事前・事後セミナー4回

応募締切：平成26年6月9日(月)必着

応募資格：中国に関心がある、静岡県内各分野の20歳から概ね35歳までの青年で、原則としてホームステイ(1泊2日)の受入が可能な方

参加人員：30人

主催・実施：静岡県教育委員会・日中青年代表交流実行委員会

参加者
募集



お問合せ

TEL 054-221-3312
〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6
(社会教育課内)



平成26年度 日中青年代表交流 募集要領

- 1 目的** 静岡県内の経済、産業、教育、行政など各分野の青年代表が、中国浙江省青年連合会（※1）が派遣する青年幹部との交流を通して、相互理解と信頼関係を深め、人脈形成や情報交換等を行い、参加後、継続的に日中交流に関わることにより、発展的な協力関係を築くことを目的としています。

※1 浙江省の公的若きリーダーとして活躍する青年が所属する。

- 2 主催・実施** 静岡県教育委員会・日中青年代表交流実行委員会

- 3 実施内容** 〈予定〉

交流・セミナー	開催月日	会場	内容
第1回セミナー	7月5日（土）	県庁	開講式、オリエンテーション、中国語講座 グループワーク等
第2回セミナー	8月2日（土）	静岡市内	中国事情講座、浙江省交流ガイダンス等
浙江省交流	8月15日（金） ～8月22日（金） 〔7泊8日〕	中国 浙江省 上海市	【静岡県青年⇒浙江省、上海市】 杭州市内視察、ホームステイ（1泊2日） 歓迎レセプション、グループ別研修 現地・日系企業視察、上海市内視察等
第3回セミナー	10月の土曜日	静岡市内	静岡県交流ガイダンス、中国語講座 グループ別研修等
静岡県交流	10月中 〔3泊4日〕	県内	【浙江省青年⇒静岡県】 ホームステイ（1泊2日）、青年意見交換会 歓迎レセプション、静岡県内視察等
第4回セミナー	12月の土曜日	静岡市内	交流報告会、閉講式

- 4 参加費** 15万円（ただし、下記のような個人的経費は含みません。）

セミナー及び静岡県交流への参加に伴う交通費、浙江省交流参加時の富士山静岡空港までの往復交通費、海外旅行保険料、パスポート取得料、浙江省交流でのグループ別研修中の交通費・食費、静岡県交流でのホームステイ（1泊2日）受け入れにかかる費用、その他個人的経費

5 募集

- (1) 対象
- ・中国に関心があり、日中の友好交流の促進や相互発展への取組に参加する意志のある、県内各分野の20歳から概ね35歳までの青年。
 - ・原則としてホームステイの受け入れ（土日の1泊2日）が可能な方。（※2）
- ※2 必ずしも家庭での受け入れではなく、他の参加者のペアとグループで協力して対応していただくことも可能です。
- ・中国語や英語の力は問いません。

- (2) 定員 30人

- (3) 申込方法 別添「参加申込書」を県教育委員会社会教育課に提出してください。

「参加申込書」の推薦書欄について

- ・公的又はそれに準ずる団体等に所属し、その団体等が推薦をする場合に記入する。
- ・推薦は任意とするが、推薦の有無は選考時に考慮する。

- (4) 締切 平成26年6月9日（月）必着

- 6 選考** 実行委員会で選考し、結果は6月下旬に応募者及び推薦団体等に通知します。

7 お問合せ・申込み先

県教育委員会社会教育課 青少年班育成・指導担当
〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6
電話 054-221-3312 F A X 054-221-3362
Email kyoui_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp
ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080/nittyuu/top.html>



本交流に参加した公立学校教員は、10年経験者研修の「社会体験研修」を免除されます。

平成 26 年度 日中青年代表交流 参加申込書

ふりがな				写真添付 *最近 3 ヶ月以内に撮影したもの 縦 4cm × 横 3cm
氏 名				
生年月日・性別等	昭和・平成 年 月 日 (満 歳)	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
現住所	〒 _____			
	自宅電話 () _____ 携帯電話 () _____ E-mail _____			
職 業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他 ()			
勤務先・学校等	名称 _____ 所在地 _____ 〒 _____ 電 話 () _____ F A X () _____			
応募動機	次の内容を含めて、100～150 字程度で記入ください。 ・中国についての関心事 ・中国との業務上の関わり、中国との交流活動の状況（特になければ、本交流参加後どのように活動していきたいか）			
中国への 渡 航 歴	語 学 ※	中国語	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級以上	
		英語	<input type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級以上	

※グループ編成が必要なため、語学レベルを記入ください。初級（挨拶、簡単な会話程度）、中級（日常会話・旅行に困らない程度）とお考えください。

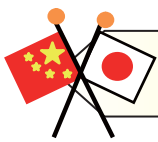
以下は申込者において記入しないでください。

推 薦 書

上記の申込者について推薦します。

平成 26 年 月 日

所属団体等 推薦者 記入欄	(団体等名・担当課等) (役職名) (氏名) 印
---------------------	--



日中青年代表交流 平成25年度参加者の声

1 感想



浙江省での交流（8月）

ホームステイ



- ・過大なもてなしを受けた感があるが、期間中に十分親密になることができた（議員）
- ・国内で報道から得られる情報とは全く違う中国の現実を知った。政治的な反日感情は存在しながらも、個々人は友好の姿勢を持っていることが分かった（宿泊）
- ・交流パートナーがとても親切にしてくれた。言葉ができなかつたので勉強したいと思つた（経済団体）
- ・普通の旅行では知ることのできない、中国人の生活を実感できるよい機会（教員）

現地企業研修（中国移动通信浙江有限公司・阿里巴巴集团・伝化集团）



- ・日本にいと分らない中国の勢いを肌で感じ、市場の大きさ、技術力など、国、企業が実力と自信を付けていることがわかつた。日本企業として負けたくないと感じた（物流）
- ・国营企業と民営企業の両方を訪問し、対比できることは非常に有意義。（行政）
- ・個人的な見学に比べ、行政経由での訪問は対応が丁寧で、色々な質問にも対応してただけでよかつた。もっと質問時間を延長してほしかつた（教育）

日系企業研修（愛食客〈S S K〉食品有限公司）



- ・中国に進出した理由や今後の展望等、興味深い話を聞くことができた。中国への期待の高さを感じた（議員）
- ・実際に浙江省で働いている方のお話を聞いて大変有意義だつた。立ち上げたばかりの企業であつたのもよかつた（物流）
- ・日系企業が中国に進出する際のトラブル等も説明していただき参考になつた（会計士）

上海交流夕食会（上海在住の各分野の静岡県人との交流）



- ・上海にいる日本人の方と話すことで視野が広がつた。今後の人生の中で自分がやりたいことへの志をもてた（情報通信）
- ・実際に中国で活躍している方々の話はとても刺激的で、自身のモチベーション向上につながつた（経済団体）
- ・日本人学校勤務を希望しているので、上海日本人学校の先生との交流はとても有意義だつた（教員）

静岡県での交流（11月）

ホームステイ



- ・中国で築いた友情がより深くなつたと感じた（農）
- ・交流パートナーが来日できず、グループでの交流に合流した。皆さんの尽力で非常に充実したおもてなしができた。手配した通訳の方も大変すばらしく助かつた（製茶）
- ・家族を巻き込んでお迎えできて、とてもよかつた。私も家族も感動の連続だつた。自分自身、日本の歴史や文化についてもっと知識と経験を重ね、自信をもって日本をアピールできないといけないと実感した（教員）

2 私の「日中交流架け橋プラン」

～第4回セミナーで、参加者が今後それぞれの立場で日中交流に関わっていくためのプランを発表しました～

静岡県と浙江省は「茶」という共通点があるため、これを通じてさらに交流できればと思う。静岡の深蒸し茶と浙江の龍井茶は、同じお茶でも特性が異なる。互いの特性を活かした新たな顧客層の開拓をしていきたい。（製茶）



双方への訪問で最も魅力を感じたのは「作り上げられた非日常」ではなく「ありのままの日常」に触れた時だつた。物見遊山の観光はリピートすることが少ないといわれる。観光を「交流」に繋げていくために、観光業界に「自分たちの日常を隠さず伝える勇気を持つ」ことを提言したい。人と人がつながる観光の実現が私の目指すプラン。ここ静岡県には、それに足る魅力が十分に溢れている。（宿泊）